

塚本地域活動協だより

塚本地域活動協議会

淀川区塚本3丁目5-22
塚本 福 祉 会 館 内
TEL 06-6300-5880

発行責任者
角本 ひとみ
編 集 報 部



活気あふれる地域の 発展をめざして

塚本地域活動協議会

塚本地域社会福祉協議会

会 長 角本 ひとみ



早春の候 平素は、当地域活動に皆さまのご理解と協力を賜り心より感謝を申し上げます。

まずは、本年一月一日に発生した、石川県能登半島地震で、犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災に遭われたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

淀川区も震度四と発表され、災害についての認識を改めて考えさせられる一日となりました。

さて、令和五年五月八日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、五類感染症になりました。それに伴い、地域の活動が少しずつではありますが、従来の活動に戻りつつあります。

まだまだ十分な活動はできませんでしたが、昨年よりは少しは充実した活動ができたと思います。

小学校の講堂が十月に完成し、新しい講堂にて四年ぶりの『敬老会』が開催されました。

十一月三日には、この事業もまた四年ぶりに『塚本地域大運動会』が盛大に開催されました。

そして、十月には防災に関する勉強会・本年二月には、避難所開設運営委員会を実施しました。

また、地域の安全と子ども達の見守り等、日々の活動は地域の皆さま、防犯会の皆さまのご協力により継続させていただいております。

これから地域の発展のため、私たちがしなければいけないこと、それは、人が集い・つながり・笑顔あふれる地域になるよう、一人でも多くの皆さまに、地域活動を知っていただき参加していただけるよう働きかけることです。

今年、『辰年』となり、

今年、



避難所開設運営委員会

今後とも地域の皆さまや、各種団体の皆さまの協力のもと、より良い地域づくりをめざし、日々の努力を重ねてまいります。

本年度は改選の年でもあります。引き続き地域へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、まだまだ油断ができませんが、状況ではありますが、健やかに暮らしていきたいです。皆さまの健康とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



連合振興町会

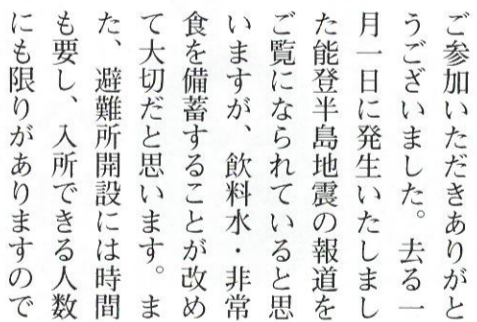
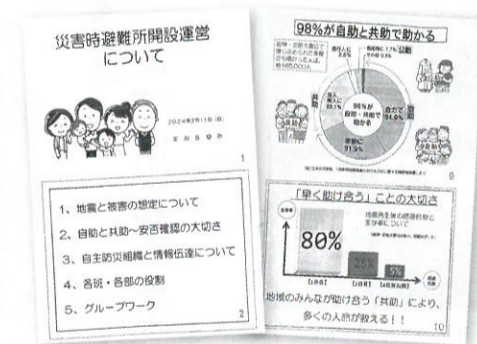
塚本連合振興町会
会 長

平素は町会活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。ご挨拶とさせていただきます。

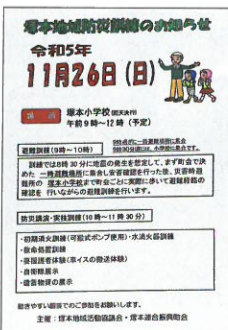
さて、十一月二十六日(日)「塚本地域防災訓練」には多数の皆さまにご参加いただきありがとうございました。去る一月一日に発生いたしました能登半島地震の報道をご覧になられていると思いますが、飲料水・非常食を備蓄することが改めて大切だと思います。また、避難所開設には時間も要し、入所できる人数にも限りがありますので

ご近所の皆さまの助け合い・ご協力が不可欠となります。これからも安心・安全なまちづくりを進めて参りますのでご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

佐々木 健仁



消火訓練の様子



防災訓練 (11月26日)

体育厚生協会

塚本体育厚生協会
会 長

厚浦 宏司

今期は七月から体操、九月にレクリエーション、十月には小学校の第六回となる塚本地域大運動会の応援、そして二月にポウリング大会と少しずつ体協の行事を行うことができました。

小学校の講堂の工事でグラウンドが少し狭くなった中で七月のラジオ

体操は四年ぶりでも約三〇〇人と多くの方に参加していただきました。九月のレクリエーションでは北摂の箕面公園でのハイキングも約九〇名ほど参加していただきました。ありがとうございます。



ラジオ体操2023



箕面ハイキング2023

次世代につなぐ 感謝と恩返しへのバトン



塚本地域社会福祉協議会顧問

大阪府議会議員

南 たかふみ

二〇二四年元日に起こった能登半島地震により、多くの方々が尊い命を失いました。亡くなられた方々に深く哀悼の意を表します。また、被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

この困難な時期を乗り越えるために、必要な支援が一日も早く届くことを心から願っています。

このような出来事があったら、改めて思うことは、私たちの何気ない日常は、先人たちの無数の努力の上に成り立っているということだと思います。その一杯のコーヒー、緑あふれる公園、安全な街：これらはすべて、過去の人々が築いた基盤の上で、私たちが享受している小さな奇跡です。この日々を当たり前と思わず、感謝の心を持つことが大切だと感じています。

私自身の人生を振り返ると、地域社会から受け

た数々の優しさが思い起こされます。幼い頃から多くの大人の方々に見守られ、支援を受けて、思う存分スポーツに打ち込めることができました。

今ではその恩を直接返すことは難しいかもしれませんが、受けたい優しさを別の誰かへと手渡すことはできます。

私たちは一人では生きていくことができません。誰しもが色々な方にお世話になり、様々な地域で育ってきたと思います。

私たちに施された親切を、今度は次の世代や他の誰かに向けて渡していきたい。そうすれば塚本の地で優しさの連鎖が生まれ、地域はより良いものになっていくと確信しています。

さて、私は昨年五月より、塚本地域社会福祉協議会顧問として活動させていただき一年近くが経

とうとしております。塚本地域の皆さまと地域活動を通して、様々な年代の方々ともふれあいながら、より快適に暮らすためには、どのような事に取り組んでゆくべきかを考えていたところ、ある出来事がありました。

習慣となった塚本駅前での清掃活動をしていると、「駅前ロータリーの花壇に雑草が生い茂っていて、動物が寄り付いて困っている」という相談を受けたのです。その他にも駅前の問題を整理すると、「違法駐輪車が並んで道を塞いでいること」、「ロータリーの白熱灯の一部が消えてしまっていること」、「ビルなどに落書きがあること」が挙げられました。

これらの問題について大阪府や警察と協議したところ、街灯は明るいLED灯に新しく交換され、駅前花壇は今年度中に植

栽が行われることになりました。違法駐輪に関しては、稼働していない定期貸し駐輪場を活用するための方法を建設局が検討する運びになりました。落書きについては、他区で運用されている「落書き消去活動支援制度」を淀川区でも実用化できるか調整しているところで

私たちが一人ひとりの日々の小さな行動が、地域に良い変化をもたらします。こうしたまちの身近な課題を解決していく

事で、これからも皆さまと一緒に住みたいまち、住み続けたいまちを実現していきたいと考えています。

高齢者食事サービス委員会



委員長

二川 英子

厳寒に耐え、いち早く春の到来を告げる開花は、今を生きる私たちの姿です。コロナ禍で分断されて四年、時差配食システムになり、人数の減少、業者も変わり、様々な状況が変化する中で、勇気のいる声かけを一人又一人に「何処に居ても貴女の事は忘れない。」その気遣いの一言が少しずつ増え続け、元氣な笑い声と共に広がっています。すべての人が自分らしく輝き、「今日は楽しかったね。明日も頑張ろう。」と共に支え合う社会をめざして!!



配食の様子



配食お弁当

民生委員児童委員会



委員長

北中 晴彦

私たちは町会長さんをはじめ地域の皆さまの協力のもと、援助を必要とする生活困窮者、高齢者、母子・父子家庭、心身障害がある人たちが等に相談・援助を行っていきます。

安心して住み続けることができる地域社会づくりをめざし、孤立・孤独

をなくし、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組み、福祉課題を抱える人達に粘り強く接し、地域社会とのつながり役として務めています。これからもご支援・ご協力をお願いいたします。

公園愛護委員会



委員長

杉本 優

公園愛護会では、皆さまに快適に使っていただくできるように公園の清掃作業をしています。

清掃作業は塚本駅前公園・第二水曜日、塚本公園・第三水曜日に朝九時から一時間行っています。

塚本公園の樹木が、専門家の樹木医の診断で、密集しているとのことでイチョウの樹など十三本が伐採され、鬱蒼とした感じは無くなりました。

また、塚本駅前公園においても、五本の樹が根

上がりしているとして伐採されました。両公園とも見通しが良くなったと思います。清掃のお手伝いをしていただける方を募集しております。



塚本公園



塚本駅前公園



日帰り研修会

